

# 東北農商工連携プロデューサー育成コンソーシアムの農商工連携等促進人材創出事業について

## 1. 事業モデル名：農商工連携プロデューサー育成塾

## 2. 事業者の概要

補助事業者名：東北農商工連携プロデューサー育成コンソーシアム（管理法人：株式会社プロジェクト地域活性）

所在地：宮城県仙台市

地域課題：東北地域では、若者が魅力的な仕事を求めて首都圏等に流出している。東北の強みである農林水産資源、観光資源等の地域資源を活用して、付加価値の高い産業、魅力的な仕事を創出するため、農商工連携による地域の6次産業化に取り組むことが重要であり、その中核となる経営人財の輩出が最も重要な課題。

課題への取組：農商工連携の中核となる経営人財を育成する「農商工連携プロデューサー育成塾」（以下、育成塾）を実施し、平成21年度22名が修了。内15名が農商工連携によるビジネス創出に取り組んでいる。

3. 事業目的・内容：平成21年度育成塾の実証結果から、特に実施後のビジネス創出に課題を残している。平成22年度はその解決策として育成塾と並行してハンズオン支援（育成塾講師、専門家、金融機関等によるアドバイス会議、個別アドバイス等）を実施する。また、平成21年度育成塾第1期生が中心となって設立した農商工連携を中心に6次産業化を推進するネットワーク組織「みちのく6次産業プラットフォーム」を活用し、育成人材（育成塾2期生）のソーシャルビジネスの早期自立化を積極的に支援する。

## 4. 事業の目標

育成する人材像：農商工連携の中核となり、地域の活性化を実現する経営人財（農商工連携プロデューサー）

育成する人材数：毎年10人（3年で30人）

